

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

部課名

総務部総務課

件名	要安全確認計画記載建築物(防災拠点建築物)の耐震診断結果公表に伴う鹿島市の考え方について
アピールポイント	市庁舎については、昭和54年に建築され、今年で39年が経過し耐震診断の結果、改修が必要となっている。 防災拠点としては、新たに鹿島新世紀センター(第2庁舎)を整備することで災害時の対応を行っている。
説明	今回、佐賀県から「要安全確認計画記載建築物(防災拠点建築物)」の耐震診断結果等の公表がなされましたが、鹿島市として防災拠点及び今後の改修等についての考え方を別紙のとおり公表します。
別添資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	総務部総務課
氏名	山口 洋
TEL	0954-63-2111
FAX	0954-63-2129
Mail	soumuka@city.saga-kashima.lg.jp

鹿島市における防災拠点及び庁舎の改修等に関する考え方

【防災拠点施設について】

鹿島市の災害対策本部の設置場所としては、それまで市庁舎1階に設置し対応にあたってきた。しかし、近年全国的に大規模災害が発生している状況であることから、平成28年に災害対策本部機能（防災無線設備、情報収集機器、ライフライン機能など）を集約した「鹿島新世紀センター（第2庁舎）」を整備し、防災拠点施設として位置づけ災害時の対応を行っている。

なお、必要に応じて、それまでの市庁舎において新世紀センターのカバーをすることも考えられる。

【市庁舎の耐震改修等について】

市庁舎については、平成12年の耐震診断の結果、改修の必要がある建築物となっており、建物の軽量化等のための外壁工事は実施したものの、これまで事業の優先順位（学校の耐震化や市民会館建替えなどの大規模事業）により本格的な改修までは至っていない。

しかし、平成12年に耐震診断をした後に外壁工事をしたこと、また、診断後十数年が経過していることから、当時の改修計画を再度見直し、改修等に努めていく。